

「共感的な人間関係の中で」

先生、ドッジボール

めっちゃ楽しかったなあ」先日実施した大野小学校児童会のスポーツ大会の後、1年生が私の手を引いて話してくれました。同じチームの6年生が2回もボールを譲ってくれたこと、後で自分もお礼に1回ボールを譲ったことを、6年担任

の私に身振りも入れて一生懸命伝えてくれるのでした。実は私も審判をしながらその様子を見ていました。1年生が「恩返し」と言っている、6年生が一瞬驚き、少しちゆうちよした後、満面の笑顔で「ありがとう！」と応えたそのうれしそうな顔が忘れられません。

この日は児童会本部の子どもたちも「全員が仲良くスポーツを楽しむことができるように」と、いろいろと工夫して準備しました。5・6年生は自分自身も球技を楽しむ一方で、全員が楽しめるように、下級生にボールを譲ったり拍手や褒め言葉で盛り上げたりしていました。本校の人権旬間は12月。児童会本部を中心に「かがやこう自分！とどけよう、あたたかい心」をテーマに、「かがや

きカード」の取り組みを進めました。「一人一人が自信と勇氣を持つてがんばれるようにしたい」という願いを込めて、友達の良いところや頑張っているところを見つけ、カードに書いて届けるのです。この取り組みを通じて、互いの良さに目を向け、認め合うことで、一人一人の輝きが増すこと、より楽しい学校になることをあらためて子どもたちは学ぶことができました。

一人一人の良さや努力を認め合いい、失敗しても一緒に頑張って悔しがったり励ましたりしてくれる仲間。そんな共感的に自分を支えてくれる友達がいる学級の中では、子どもたちは伸び伸びと自分の力を発揮することができます。本校では、今後、共に学び共に育ち合える共感的な仲間づくりを大切にした取り組みを充実させていきたいと思います。



(大野小学校 人権教育主任 伊藤 太郎)

伊藤 太郎

環・境・市・民

感激!

エコ発見

エコちゃん

—第12回—



今回は環境に配慮した、とても簡単！エコレシピの紹介です。

おからで作る『エコ味噌』

捨てられがちなおからを使い、加熱の必要がなく、電気やガスを使わずに作れます。

材料 ・おから630g
・こうじ250g
・塩100g

①こうじをほぐして塩と混ぜ、おからを加えて混ぜ合わせる。

②①を丸め、ビニール袋をひいた容器に空気を抜くように叩きつけながら詰める。

③表面に塩をまぶし、口をしつかり輪ゴムで縛り、重石を乗せ、半年から1年熟成させて完成。

「毎年ユズがたくさん採れるのですが、例えばユズの一番外側の皮はおろしておもちに混ぜて『ゆずもち』に。次の分厚い皮はジャムに。果汁はジュースにして、最後に種は日本酒や焼酎に入れておくと化粧水になりますよ。なんでも捨てる前に、もうひと工夫です」

(環境課)

今回のエコリスト

小寺典子さん

(園部町竹井)



南丹市食生活改善推進員連絡協議会会長の小寺さんの

料理は、味や栄養バランスはもとより、環境への配慮を欠かしません。